

施策No.	政策名	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり	主管課	生涯学習課	主管課長名	酒寄 久
302	施策名	生涯学習・芸術文化活動の推進	関係課	学校教育課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	市民	①桜川市人口		人	見込値			45,122	44,571	44,020	43,190	42,571	41,952	
実績値					46,575	45,673	45,105	44,449	43,826	43,190	42,632	42,000		
見込値														
実績値														
的	施策の意図	成果指標名	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	生涯にわたって自ら学ぶ、学びあう	①日頃学習活動をしている市民の割合	%	目標値			25.5	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0		
実績値				25.2	23.5	22.3	24.8	22.8	22.5	25.1	24.2			
②生涯学習活動を通じて学びあっている市民の割合		%	目標値			42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0		
			実績値	45.0	36.8	46.6	44.1	49.0	45.6	49.7	44.9			
成果指標設定の考え方														
成果指標の把握方法と算定式等		○①対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ○②生涯学習活動を通じて学びあっている市民の割合は、①の日頃学習活動をしている市民の内数でアンケートの「桜川市民に教えている」と「桜川市民から教わっている」の計。												

2. 施策の役割分担と状況変化

役割分担	1)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民や地域、行政と協働でやるべきこと)	2)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)
	○生涯学習や文化活動に積極的に参加し、知識・見聞を深める。 ○市民講座等の講師となり、市民同士の学びの輪を広げる。	○生涯学習や文化活動施設の充実や生涯学習情報の提供により、市民の学習・文化活動を支援する。 ○各種広報活動や文化講演会の開催により、市民の学習・文化活動に対する意識啓発を図る。 ○市民同士の学びの輪を広げるため、市民講座の講師などの人材を育成・確保する。
状況変化	3)施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか?	4)この施策に対して住民、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	○余暇を利用して学習活動する部分があるので、景気の影響を受ける。 ○生涯学習、文化活動の拠点として整備された真壁伝承館の利用ができるようになり、活発な活動につながると考えられる。 ○現在活動している市民が高齢化している。 ○文化協会では、子どもたち(出前教室)を取り込む取組みを実施している。 ○活動がマンネリ化している現状もある。講座を企画募集しても集まらない。結果従来型の講座となる。 ○文化協会は、今後部会制にすることで、会員同士の連携・交流が深まり、活動の幅が広がることが期待できる。	○市民アンケートの満足度、優先度調査の結果、満足度はやや高く、優先度は低い位置となっている。 ○自主講座を行う会場が少ないとの意見がある。

3. 基本事業の目的と指標

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
①生涯学習及び芸術文化活動機会の充実	市民	学習の機会を充実させる	指定講座の数(自主講座以外)	実績値							
				講座	35	25	28	31	29	26.0	25.0
②生涯学習及び芸術文化活動の促進	市民	学びあう	自主講座数	実績値							
				講座	148	148	137	106	104	106	109
③生涯学習・文化施設の充実	市民	利用しやすくする	施設の利用人数(伝承館・岩瀬公民館・大和公民館・改善センター・3分館)	実績値							
				人	77,960	85,329	106,941	98,623	95,556	100,574	115,858

4. 施策のコストの実績(施策を構成する事務事業シートより積算)

項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績
①本施策を構成する事務事業の数	件	36	28	22
②施策事業費(一般財源以外)	千円	4,658	6,594	4,839
③施策事業費(一般財源)	千円	66,209	70,517	70,878
④施策事業費の計(②+③)	千円	70,867	77,111	75,717
⑤施策人件費(事務事業の人件費合計)	千円	63,996	41,526	31,236
⑥計(④+⑤)	千円	134,863	118,637	106,953

5. 施策に関連する主要事業等

区分	事務事業名	摘要
主要事業	図書館整備事業	後期基本計画主要事業
事務事業	市民文化祭事業	H27貢献度上位、H28優先度上位
事務事業	桜川市文化協会助成事業	H27貢献度上位、H28優先度上位
事務事業	こども伝統文化教室	H27貢献度上位

施策番号	302	施策名	生涯学習・芸術文化活動の推進	主管課	生涯学習課
------	-----	-----	----------------	-----	-------

6. 施策の成果水準とその背景・要因

1)-①現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から学習活動をしている市民の割合は、23年度22.3%、24年度24.8%、25年度22.8%、26年度22.5%、27年度は25.1%、28年度は24.2%と推移している。 ・地区別に見ると、学習活動をしている市民は、岩瀬地区は横ばいでしたが、真壁・大和地区では増加している。 ・生涯学習講座数(指定講座)については、26講座実施しているが、地区別に見ると岩瀬地区13講座、真壁地区4講座、大和地区8講座である。 ・生涯学習講座数(自主講座)については106講座実施している。地区別に見ると岩瀬地区が76講座、真壁地区16講座、大和地区17講座となっている。岩瀬地区において他地区より多いのは、公民館における研修室が充実しており、学習機会が比較的多いこと、また、従来から定期講座が多くあり、講座がきっかけのサークル活動も増えていったためと思われる。また、受講者が固定化してきている面がある。 ・文化協会加入団体は74団体、高齢化に伴い退会する団体もあるが、公民館の自主講座から加入した団体もあり、横ばいである。 		

1)-②成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてが上回った	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った
	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> すべての成果指標で目標値を下回った
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> ①日頃学習活動をしている市民の割合は、前年度比2.6ポイント増加したが、28年度目標値30%に対し24.1%と5.8ポイント下回った。 ②生涯学習活動を通じて学びあっている市民の割合は、28年度目標値42.0%に対し44.9%と2.9ポイント上回った。 		

2)他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか低いのか、その背景・要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり高い水準である	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば高い水準である	<input checked="" type="checkbox"/> 他の自治体とほぼ同水準である
	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば低い水準である	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり低い水準である	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習活動をしている市民の割合は桜川市の25.15%(平成27年度)。近隣の市、県で見ると、アンケートの内容や設問の方法が違うため、他との比較が難しいが、守谷市36.3%(27年度)、佐野市18.1%(27年度)、真岡市25.2%(27年度)、桜川市と比較すると佐野市からは7%高い数値であるが、守谷市では11.2%低い数値となっている。 		

3)住民の期待水準との比較(住民の期待よりも高い水準なのか 同程度なのか、低いのか)、その他の特徴は?

実績比較	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり高い水準である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば高い水準である	<input type="checkbox"/> 市民の期待とほぼ同水準である
	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば低い水準である	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり低い水準である	
背景・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習活動をしている市民割合は、前年度比0.9ポイント減少したことは、各中央公民館等の各種施設の老朽化もあり、市民の要望に十分に答えられていない点もあると思われる。 ・後期総合計画策定時におけるアンケート調査では、この施策の満足度はやや高いが、優先度は平均よりかなり低く、現状維持項目となっている。各種事業に参加している市民は満足しているが、学習活動をしている市民が少ないと理解できる。 ・平成28年度市民文化祭は、組織再編した文化協会専門部が中心となり、部ごとに交流や連帯感を強化し意識を高め、充実した文化祭ができた。 		

区分	これまでの取組成果
施策全体	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化に親しむ機会がある・活動できる機会を提供することを重点的に取り組んできた。
基本事業	<ul style="list-style-type: none"> ①生涯学習及び芸術文化活動機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・市民・各種団体等のニーズにあった講座を取り入れることに努めた。 ・市民文化祭において、公民館講座等の受講者等、公民館利用団体にも参加を呼びかけ、成果発表の場を作った。
	<ul style="list-style-type: none"> ②生涯学習及び芸術文化活動の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み組織が硬直化していた文化協会を、旧市町村単位であった支部制から、同じ分野でまとめた専門部として再編したことで、部内において団体の連携・交流を活発化させ、活動の幅を広げた。
	<ul style="list-style-type: none"> ③生涯学習・文化施設の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の整備、可能な修繕を行い、利用の向上に努めた。 ・図書館等の整備、相互の連携向上により施設の有効活用、市民の利便性向上に努めた。